平成２７年3月１３日　No.４６

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒252-0239 相模原市中央区中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sagamihara-kng.ed.jp/

「地球はなぜ丸いのか？」

･･･こんな、自分にとって当たり前で、改めて考えたこともないような問いに、ある素敵な宇宙工学の研究者のお話の中で出会いました。地球が丸いのにも、ちゃんと理由があるそうです。お話を聞いて「は～、なるほど。」と感心し（そのときは納得したつもりになっていたのですが、今説明しろ、と言われると･･･）、当たり前と思っていたことにも時に足を止め、「なぜ?」と考えることの面白さと大切さを感じました。その研究者は「想像力が大事。」ともおっしゃいました。「地球の半径を知っているよりも、なぜ地球は丸いのかを疑問に思うことがすごい。自分で生んだ疑問が一番のモチベーションになる。」･･･楽しい科学のお話を聞きながら、「想像力を磨いていくと、人と人との間のいろいろな‘当たり前’も、やがて‘感謝’とか‘思いやり’に変わっていくのでは。」とそんなことを思いました。･･･そんなふうに思えたのも、その研究者の穏やかで温かい誠実な人柄のおかげだったのかな、とその素敵な出会いに感謝しつつ、この日を思い返し、「学ぶ」ということについて考えています。

総合学習センター所長　金井 秀夫

平成26年度 教育実践研究論文表彰式

平成２７年１月２３日（金）、相模原市立総合学習センター大会議室にて、平成２６年度教育実践研究論文表彰式を行いました。
今年度は、３８本の応募があり、厳正な審査の結果、次の方々が入賞されました。

◆平成２６年度教育実践研究論文入賞一覧◆

入賞	氏 名	所 属	テーマ
教育長賞	金子 温	上溝南中学校	生徒一人一人の学びを保障する授業改善を目指して ～上溝南中学校の校内研究の実践と四年間の歩み～
優秀賞	大西 春之	若草小学校	宇宙との出会いを大切に！！子どもが“ワクワクする”授業づくり ～JAXA とのコラボレーションによる、星座カメラ i-CAN を使った学習～
	渡部 規生	東林小学校	思考力･表現力を高めるための授業デザインで子どもたちはどう変わるか ～算数の「型」学習を通じて～
奨励賞	大里 朝彦	若草小学校	インクルーシブな学校づくりをめざして ～支援教育の理念をベースにした学校経営～
	髙橋 亮	谷口小学校	自分たちで課題を見つけ、一人一人が高める体育学習 ～走り高跳びにおける課題解決を目指して～
	村尾 司	谷口中学校	「発達障害における苦手さの理解と学ぶ意欲の基盤形成への試み」 ～心的エネルギーを与え活動の入り口へとつなげるアプローチの実践～
	山田 良恵	淵野辺東小学校	高学年児童の主体性とリーダー性の育成 ～夢の丘小学校での特別活動の実践を通して～

市民大学・総合学習センターコース

「相模原の夜明けー開国から国民国家へー」

11 月より全３回コースで開催されました。

1 回目　開国と相模原の養蚕製糸
2 回目　勤皇佐幕と相模原の人々
3 回目　近代国家の形成に抵抗する相模原の人々

講師は、今年も東京農業大学非常勤講師の大貫英明先生です。幕末から明治へ。相模原でも民衆の暮らしは大きく変わりました。千人同心、民権活動・・先人たちの暮らしぶりを知る有意義な時間が過ごせました。相模原を学ぶ「市民大学・総合学習センターコース」来年度もご期待ください！

市民講座「学びのらいぶ塾」

春講座受講者募集中！

春講座の受講者募集が、3 月 15 日（日）から始まります。3 月 31 日（火）まで、当センターや各公民館・図書館にある募集チラシについている申込書、はがき、センターホームページから申し込めます。

◆講座名◆

心豊かに生きる道徳	知って得！生き活き術
ハーバルライフ入門	釈迦を学ぶ
楽しい書道（漢字）	歴史の残影：トルコ
俳句、はじめましょう	忘れないパスワードの作り方
大人の元気が出る論語	はじめての朗読
春の健康クイズ	今に活かす江戸の知恵
楽しいマジック	

学社連携・協働の動き

＜各校での取組み＞

１１月１日（土）に南大野小学校で「カルチャースクール」が開かれました。地域の方や保護者など、その道の＜達人＞を迎え、今年は１５の講座（茶道、紙飛行機、陶芸、折り紙、古典落語など）に４・５・６年生の児童約２５０名が参加しました。土山コーディネーターは、学校の担当の先生方と一緒になって、３０名近い講師との連絡調整、各教室の準備や運営のお手伝いをこなしながら、普段学校ではなかなかできない体験とふれあいの場づくりを支援しました。

＜南大野小学校のカルチャースクール＞

＜東林中学校の TORIN トライやる＞

１１月１２日（水）から１４日（金）にかけて、東林中学校の２年生が職場体験「ＴＯＲＩＮトライやる」を行いました。豊内コーディネーターは、学校の最終的な目標である「１事業所１人」に少しでも近づけるように、年度当初からボランティアの方と地域の商店や事業所をまわりました。生徒の受け入れ先からは「明るく元気に働いてくれて気持ちがいい」「体験後の生徒の感想も楽しみにしている」といった声が聞かれ、地域と一体になった活動となっていました。

１１月２２日（土）に内出中学校で、「内出の森コンサート」が開かれました。中里コーディネーターは、主催である「地域で本物に触れよう実行委員会」の実行委員長として、大沢地域のまちづくり会議や地域のＰＴＡ、公民館等との連携を図りながら、イベントの企画・運営を行いました。地域の小中学生や N 響団友オーケストラによる演奏は、４００名を超える地域の方で２階のギャラリーまで一杯になった体育館を大きな感動で包みました。

＜内出中学校の内出の森コンサート＞

生涯学習まちかど講座

情報モラルとマナーについて　～知っておきたいルール～

「生涯学習まちかど講座」とは、市民の皆様の学習や暮らしに役立ててもらうための講座です。その中の、「情報モラルとマナー」については、指導主事が各地区、学校、公民館などに出向き、地域の方や小中学生の保護者、子どもたち本人と一緒になって、携帯電話・スマートフォンなどの正しい使い方について考え、情報モラル意識を高めていただくための講座です。今年度は 15 回、約 1500 名の参加者と一緒に、子どもたちの情報モラルについて考えていくことができました。子どもたちの情報モラル意識の向上には、保護者や教員、地域の方を含めた「大人」が、安心・安全に情報端末を使っていけるよう、協力して取り組むことが大切です。これからも、携帯電話・スマートフォンの利用から生じるリスクについて、分かりやすく現状と対策を伝え、参加者と一緒になって情報モラルに意識を向ける機会を提供していきます。

↑鶴の台小学校　土曜参観にて

講座資料（一部抜粋）→

3．これからのこと

①知ること
- 現在の通信機器の種類、使い方の理解
- 子どもたちの現状把握

②決めること
- 家庭内でのルール作り

③行うこと
- フィルタリング（有害サイトを見せないようにする）
- 機能制限（ペアレンタルコントロール）

平成 27 年度のまちかど講座の申し込みも多数きております。お早めの連絡をお待ちしています。

広がっています　タブレットPCを活用した協働的な学習

総合学習センターでは、タブレット PC を授業で活用してもらうことを目的に学校に貸し出しを行っています。３学期は、新町中学校と大沢中学校でタブレット PC を活用した協働的な学習の授業実践がありました。タブレット PC を有効に活用することによって、生徒の関心を引き出し、生徒が主体的に取り組む活発な授業を行うことができたと、実践された先生からの報告がありました。来年度もタブレット PC の貸し出しを行う予定です。希望がありましたら学習情報班（７５４－２５７７）までお問い合わせください。

★新町中学校（数学　平行四辺形）

ペン機能を使って図に印をつけながら証明の流れを話し合う

画面転送装置を使って無線でテレビにつなげ、書き込みながら発表

★大沢中学校（体育　ダンス）

スクリーンで授業の目標を確認後、ビデオ機能を使って撮影し、再生しながら完成度をチェック

研究員研究

本市の教育の向上を図るため、組織的・計画的な調査や研究を行っています。

平成２５・２６年度にわたって取り組んできた２つの研究が、この３月で終了します。

「小学校理科」に関わる研究
～理科の学習と生活をつなぐ～

児童が理科の学習を身近に感じたり、活用できることを実感したりしながら、学ぶ意欲や科学への関心を高めていくことをねらい、サブテーマを「理科の学習と生活をつなぐ」とし、その手だてについて研究しました。

「情報活用能力」に関わる研究

１年次は、小学校１年から中学校３年までの教科等でどのような知識・技能が習得されているのかを探り、「課題」、「収集」、「吟味」、「表現」の基準リスト及び子ども用ハンドブックを作成しました。２年次は、それをもとに授業実践を進めていくことで、新たな学力と言われる「情報活用能力」を子どもたちにどのように育成していくべきかを検証しました。

さがみはら教育

第１５８号を発行します！

「さがみはら教育」は、総合学習センターが発行する教育情報誌です。毎年2回、9月と3月に発行しています。

１５８号では、相模原市で5年ごとに行っている「生活体験調査」から、子どもたちの日常生活の中での体験や生活習慣の実態を探ります。

本市の子どもたちが、いきいきと、夢や希望に満ちた学校生活を送ることを願って編集いたしました。

総合学習センター等で販売します。ぜひ、御一読ください。

さがみはらの未来をひらく教育考房（こうぼう）

さがみ風っ子教師塾

第6期！　2コース開催中！

チャレンジコース

第６期は５９名の塾生が、相模原市の教員をめざして、多くの仲間と学びを深めています。現在、第４ステージ「仲間との絆を深め、教育への夢と情熱を語る」をテーマに、教育に直接携わっていない方から話を聞くことで、教師として、社会人として必要な資質を高めるとともに、学びのまとめをしながら教師になる意志と情熱を確固なものにしています。３月２１日の閉講式では、全講座をやり遂げた満足感と自信に満ちた輝く笑顔が見られるものと今から楽しみです。

第1ステージ

学校・教師の役割と期待される姿を考えることを通して、教育観を深めました。

第2ステージ

今を生きる子どもを考えることを通して、子ども理解を深めました。

第3ステージ

「学級づくりと授業づくり」について考えることを通して、実践力を高めました。

スキルアップコース

第６期より、新設した現職の先生方対象のスキルアップコースでは、前期４回の学びを生かして、自分が追究したいテーマを決定し、３つのグループにわかれ、主体的に学びを深めています。

相模原のスポーツ

相模原 RISE との交流で実感したコミュニケーション力、夢を追いかける情熱、選手やスタッフ全員で目標に向かう姿勢など教育現場においても必要なことを市内の先生方に広める活動を企画しています。

相模原の自然

「若あゆ」で身近な自然の素晴らしさを実感し、「JAXA」では、宇宙という大きな視点で自然を考える大切さを学びました。それぞれの学びを取り入れた授業づくりや相模原の自然の活用方法を探っています。

相模原の伝統

「相模の大凧祭り」について調べ、活動に関わることでの実行委員の方の大凧にかける思いや伝統を守る大切さを学び、相模原の魅力を再発見しました。